



注目店舗紹介

●●● 患者サポート ●●●

管理栄養士が患者宅に出向き食生活指導

訪問薬樹薬局保土ヶ谷(神奈川県横浜市)

訪問薬樹薬局保土ヶ谷(神奈川県横浜市)は東京・神奈川を中心に保険薬局148店舗を展開する薬樹株式会社の子会社で在宅調剤に注力した業態だ。横浜保土ヶ谷中央

病院前に立地し処方箋応需は月約2,000枚と多く、このうち240枚(患者130人)は在宅調剤で徐々に増えているという。

同店には管理栄養士も常勤しており、来店した処方箋患者から「高血圧なので改善できる食事がしたい」「ダイエットしたいのだがどうしたらいいか?」などの相談に

乗っている。患者から「薬局で栄養指導もしてもらえ、とてもありがたい」と喜びの声を聞くことも。

さらに同店では在宅調剤と共に管理栄養士が「訪問栄養指導」を行っている。薬剤師が患者宅で「食生活の改善も併せてする方が良い結果に繋がる」と判断したら、管理栄養士が出向き栄養指導を行なう。薬剤師と管理栄養士がタッグを組み、専門性を融合させて医(薬)と食の両面から患者をサポートする。

現在4人の患者を担当する管理栄養士の鈴木詩織さん(28)は「店頭での栄養相談と比べ、訪問栄養指導は食事が困難で栄養不足になっている患者は多く、同じ栄養指導でもかなり異なる。地域の医療・介護関係者との連携も必須」と話す。

鈴木さんは、東日本大震災の復興支援で、石巻の在宅被災世帯の健康支援活動に携わった。その経験もあり困っている人の力になりたいという思いが人一倍強い。多職種連携の大切さも実感し、現在在宅チーム医療栄養管理研究会や病院と連携したNSTに参加する等、日々研鑽を積んでいる。

訪問栄養指導について薬樹は「まだ明確な保険点数がないので実施する他社は少ないかもしれない。しかし、『食のQOLを上げたい』との要望は在宅患者さまに確実にある。患者さまの健康を第一に考え、サポートするのが薬局の役割」と使命に燃える。



訪問栄養指導では食が細くなって栄養不足の高齢患者が多いので、「やわらかい食事」「栄養価の高い食品」をアドバイス



処方箋患者のフォローとして、管理栄養士が「医食同源」で麦ごはんなど健康食材をおすすめ販売